

第429号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



自分探しの旅



カット：本多紘子

10月に入り、秋の夜長を楽しみ季節となりました。今年の夏も異常な酷暑で、年々と気温が上がり高齢者や幼児には熱中症で倒れる危険もあり、地球温暖化対策を真剣に考えて欲しいですね。9月のお彼岸の中日を過ぎてから、ほんの少し涼しくなりホッとしています。9月の皆様方の体調は如何でしょうか。

9月は台風季節です。日本には幸いにも大型台風は来ませんでしたが、中型台風の沿岸上陸によって各地で線状降水帯が発生し、大雨で河川が氾濫しています。住宅地や道路が浸水し、大きな被害を受けた地域もあり、心よりお見舞い申し上げます。海面温度が異常に高くなると、大型台風も発生しやすく甚大な被害となります。9月19日にフィリピンに上陸した大型台風18号は、23日に台湾から中国の広東や香港に上陸し、大災害となりました。10月に入っても海水面の温度が高いので、日本でも大型台風の対策をしっかりやりたいですね。

少し涼しくなり夕方に庭の花に水をやっていると、蚊たちがブーンブーンと現れて、愚僧の腕を刺すのは驚きました。猛暑の時には蚊がいなかったのに、涼しくなると蚊たちも元気になって活道するのですね。蚊たちも子孫を残すために必死です。血を吸いに来る蚊は殆ど

雌だそう。刺されると痒くてたまりませんが、日本の蚊は怖い病原菌を媒介していません。南方の国の蚊はマラリアという病原菌を媒介するので、刺されるとマラリアに感染して死亡することもあります。新聞記事で、殺人をする動物の No.1は蚊であり、No.2は人間だとありました。蚊がマラリアというウイルスを媒介して、刺された人間が弱り死んでいくのです。蚊を絶滅させようという運動が起こったとき、WHO(世界保健機構)は蚊はボウフラの時に小さな魚が餌として食べ、蚊として成虫になれば小鳥たちの餌になっているので、蚊がいなくなると地球の生態系が崩れるので、蚊を絶滅させてはならないと警鐘を鳴らしました。憎き蚊も一匹もいなくなれば、人間の私も生きていけなくなるとしたら、私を刺した蚊だけには可哀想だけど死んで貰いますとパチンぐらいが良いのかな。

9月4日に、昭和歌謡界の「御三家」のひとりとして人気を集めた橋幸夫(82)さんが肺炎で死去しました。愚僧は団塊の世代に生まれた76歳ですが、舟木一夫さんや西郷輝彦さんたちの少し前から大活躍し、1962年には「いつでも夢を」を吉永小百合さんとデュエットで歌い、日本レコード大賞を獲得したのは忘れられません。1945年に米国との敗戦で日本は貧しい悲惨な国となり、ようやく復興が目に見え始めた頃だったので、この歌が若者の心を惹きつけたのでしよう。1964年には東京駅と新大阪駅に新幹線が開通され、第一回目の東京オリンピックが開催され、夢のような出来事でした。夢と希望にあふれた時代でもありましたが、歪みも大きかった時代です。

NHKの朝ドラで4月から9月まで放送された「アンパン」はアンパンマンの漫画を描いた「やなせたかし」さんの物語でした。愚僧はアンパンマンの「何のために生まれ 何をして生きる」という歌の文句にとっても感動しました。仏道を学ぶと言うことは自分自身を深く見つめることであり、自分は何のためにこの世に生まれ、どのように生きることが自分らしいのかを探ることだからです。合掌(奥原 曇龍)

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

『何のために生まれ何をして生きるのか その問いこそが人生の問いだ』 どんりゅう



カット：府川 綾

ともしび説法

日時・十月 十六日(木)・午後一時半から四時まで。
十一月 三日(月)・午後一時から四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり 108

お釈迦様は鍛冶屋チユンダの食事の供養を受け、クシナラー(クシナガラ)に向かつて出発をされたが、やがて激しい食中毒の症状がでて、一步も動けなくなりませす。

路傍の一樹下に上着を四つ折りにして座られ、下痢のために喉の渇きが甚だしく従者のアーナンダに水をたのみませます。その場所の近くにはわずかに流れている小さな川があったが、そこをちよと商人の五百の荷車が通った後だったので、水は濁り汚れていた。

アーナンダは、お釈迦様に水が汚れていたことを伝え、今少し行けばカクッター河があるから、そこで水を飲んだり身体を洗われては如何ですか、と言ったけれども、お釈迦様はどうしてもすぐに水が飲みたいと言われませす。仕方なしにアーナンダは再び近くの小川に行つて見ると、不思議なことには、水はすっかり澄んで綺麗になっていました。これを見たアーナンダはびびりして、これはきつとお釈迦様の不思議な威力によるものに相違ないと思ひ、その水を鉢にくみ取つて持ち帰り、その奇跡を申し上げました。

小さな川を渡つた五百の荷車の商人達の中にブックサというマツラー人がいて、お釈迦様のところにやつて来ました。彼は、お釈迦様が師事したこともあるアーラー・カーラマの在家の弟子であつたが、お釈迦様の説法を受けて大いに喜び、仏教信者となると共に、お釈迦様およびアーナンダにそれぞれ美しい金色の絹の衣を差し上げます。

これを着けられたお釈迦様は、皮膚の色まで黄金色に輝き渡りました。アーナンダが不思議に思つて、これを申し上げますと、お釈迦様はそれは自分の最後が近づいたからであると言ひ、自分は今夜半にクシナラーの沙羅双樹の下で入滅(死)するであろうと申されました。いよいよ人間釈迦も80歳の寿命で涅槃(死)を迎えます。合掌 (奥原曇龍)



9月23日 秋の彼岸会合同法要(本堂)

ともしび法話

実りの秋がやつて来ました。今年の夏の異常な暑さには驚きましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私も8月1日に第二子の男の子を出産して、お寺を離れて養生していましたが、そろそろお寺の仕事をしたと思ひます。心光寺の秋の法要には、皆様お参り下さい。

心光寺新坊守(ほうもり) 府川 綾

猛暑の夏が九月中旬まで続き、曇龍先生も新坊守様も大変でした。お盆・お彼岸の行事も無事に済ませられ、11月3日の秋の報恩講法要に向かつて頑張つて下さい。

倉敷市市庄 山下須摩子

ようやく秋らしい秋が来ました。涼しくなるとホッとしますが、お寺の皆様お元気でしょうか。親鸞聖人を偲ぶ報恩講法要の準備はお手伝いさせていただきます。合掌

倉敷市西中新田 古谷 洋子

酷暑の夏でしたが、お寺の駐車場は草がウボウボでした。門徒の松下智海さん、竹下秀樹さんの草刈りのお陰で綺麗でした。感謝。感謝。心光寺総代長 本家 豊彦

秋風に誘われ参る親鸞忌 心に光りくれる寺かな 田辺多恵子

ともしび説法

日時・十月 十六日(木)・午後一時半から四時まで。
十一月 三日(月)・午後一時から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定
十一月 三日(月)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。
秋の報恩講法要・永代経 儀式・仏教講演
十二月 十八日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆『ともしび』を、平成27〜29年、平成30〜令和2年、令和3年〜令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。

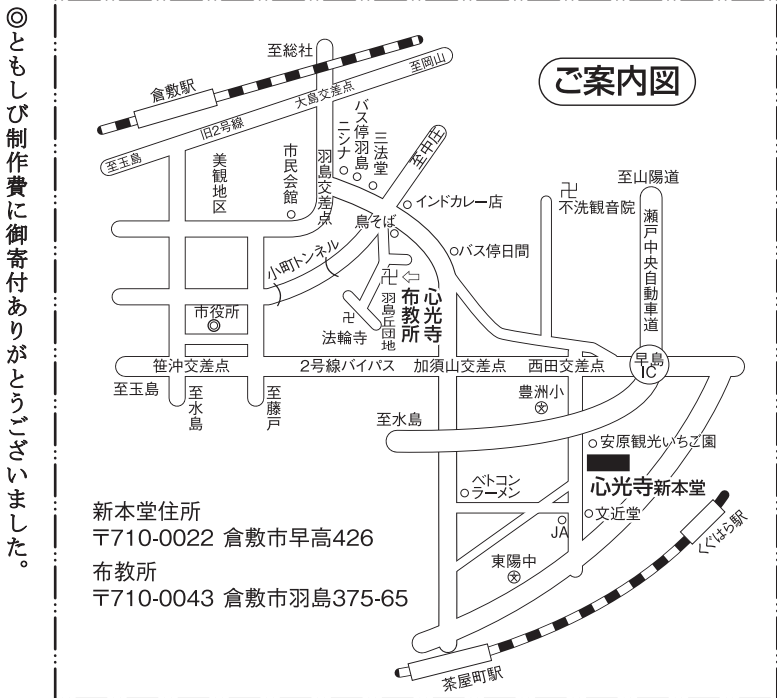


いづるの詩

実りの秋の十月
暑い夏の季節もやつと過ぎた
稲穂も頭を下げて収穫を待つ
運を天にまかせながら
笑顔を忘れないように歩む
老いることは実ること
いつまで生きても好いように



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 小山様 3千円
- 倉敷市 池田裕様 小山昇生様 5千円
- 菊川市 津田司様 1万円 倉敷市 玉井トキ子様 2万円
- 板橋区 奥瀬芳雄様 3万円

浄土真宗心光寺についてもっと知りたい方
お寺や『ともしび』について知りたい方

心光寺 倉敷 検索

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「429号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。10月16日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦